

	第1学年 学年通信 第3号 人間力×実践力	
--	--	--

5月も下旬に近づいてきました。現段階では6月からの学校再開を目指しており、学校でも皆さんが安心して、安全に登校できる準備を進めています。本校では安全対策チームを立ち上げて、3月24日付で文部科学省が提示している「新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン」に従って、施設の消毒、消毒液やハンドソープ設置のさらなる強化など環境整備に取り組んでいます。

皆さん、いかがお過ごしですか？毎週金曜日に配信されている課題への取り組みは順調ですか？適度に体を動かし、リフレッシュをしていますか？Classiを通して、皆さんの健康状態や課題の進捗状況の確認を継続して行っていくので、今後も入力をお願いします。また、学習に関する新たな取り組みとしてスタディサプリとスタディサプリ ENGLISHの全校導入がスタートしています。中学校の復習講座から高校1年生の超入門(英語のみ)、ベーシックレベル、スタンダードレベル、ハイレベルと講座は多岐にわたります。一人一人が自分の学習進度に合わせて学べる教材です。これらの学習教材を有効活用して苦手科目の復習、今進めている課題の理解補充、新たな分野の予習などに使ってください。また、各教科から配信されている課題と合わせて活用してください。今まで以上に、Stay Homeの時間を充実させ、学びを深めていきましょう。



この休校期間にふと気づいたことがあります。それはテレビで漢字クイズに答える番組を見ていたとき、私も回答者の一人になったつもりで解いていると、当然知らない漢字にも出くわすのですが、一方で分かるはずの漢字を忘れていて、書いてみようとしても書けないということが多々ありました。また、別の番組で、日本の空港等で外国の方に声をかけて「なぜ日本に来たの？」とインタビューをするものだったのですが、日本の漢字が好きで、日本語で小説を書きたくて日本に来たという方がいました。好きな漢字は？とインタビュアーに聞かれ、その方が書いた漢字のレベルの高さに圧倒されました。そこで気づいたことは、最近字を書くことが極端に減っているということです。この原稿を書くのもパソコンで、何かの記録を残すこともパソコンが多くなっています。特にこの休校期間で、「書く」ことはほとんどしていないのではないかと気づきました。授業があれば黒板を書いたり、ノートに記録を取ったり、伝達事項を書いたりと字を書く機会もあるのですが、今はなかなかありません。それはもしかしたら、この休校期間で学校の授業を聞いてノートを取る機会がない皆さんも同じではないでしょうか。

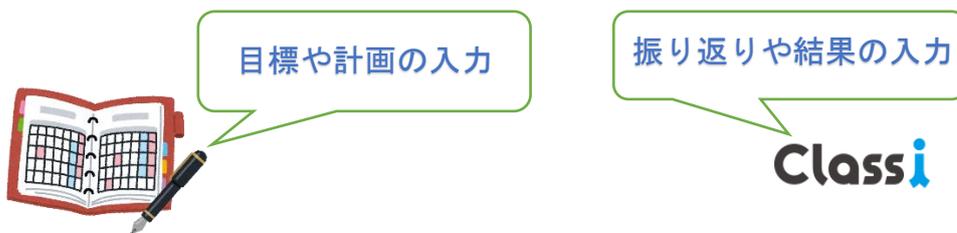


パソコンやデジタル端末が普及していて、ペンを持ち、何かを「書く」ということが減っている現代ですが、字を書く、記録に残すことに対するメリットはたくさんあります。東北大学加齢医学研究所所長の川島隆太教授によると、文章を書くときの脳活動を調べてみると、パソコンやスマホを使って文章を書いているときよりも、手書きの方が前頭前野をよく使うそうです。それは手書きであれば、漢字などの文字や文章を考え、それを表現する必要があるからです。活字を読むことも同様で、つまり、読み書きが脳を活性化させ、学習効果を高めていることが分かります。前頭前野は「考える」「記憶する」「アイデアを出す」「感情をコントロールする」「判断する」「応用する」など重要な働きを担っていることを考えると私たちにとって、とても重要です。これらのスキルを高めることで、将来社会人としての成功にもつながると思います。



そこで、少しでも「書く」機会を増やすために、学習手帳の活用を始めてみましょう。すでに皆さんの手元にある学習手帳で、学年通信2号に記載した学習の目標と計画を立ててみてください。そして、学習した結果や記録を Classi に残していきましょう。もちろん、Classi と手帳の両方に残しても構いません。学習手帳の使い方は学校再開後にも説明をしますが、まずは自分のできることを進めてみてください！また、時間がある今だからこそ、手帳を自分なりにアレンジしてみてください。表紙にお気に入りの絵を書いたり、写真をはさんだりと工夫して、オリジナリティ溢れる手帳を作ってみましょう。手帳を手にしたとき、開くときに自分の気持ちが上がる！モチベーションアップにつながる！そういった工夫をぜひしてください。その“マイ手帳作り”をこの期間でやってみるのも楽しめることの一つだと思います。

使い分けてみよう！



Classi に皆さんが入力してくれたデータを参考に集計してみました。4月25日（土）～5月10日（日）までの学習状況です。ランキングは1日あたりの平均学習時間です。

1位	6.9時間
2位	5.6時間
3位	5.2時間
4位	4.7時間
5位	4.6時間
6位	4.5時間
7位	4.4時間
8位	4.2時間
9位	4時間
10位	3.9時間

左記のランキング内には、スタンダードクラス2人、選抜スタンダードクラス2人、アドバンスクラス4人、国公立アドバンス2人がランクインしています。日々の頑張りが伝わってきます。共通しているのはほぼ毎日Classiを入力、スマホ時間が少ないことが挙げられます。また、学年の生徒全員のデータを教科ごとに見てみると、英語、数学、理科の順に課題に取り組む様子が見受けられます。継続して取り組もう！



みなさんは知っていましたか？毎年5月12日は「看護の日」、そして今年5月10日（日）～16日（土）までは「看護週間」だそうです。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、看護の心、ケアの心、助け合いの心の認知、普及を目的として制定されました。

新型コロナウイルス流行となった3月、現在看護師として働いている本校卒業生が、今病院で新型コロナウイルス感染患者さんの治療の最前線にいるという近況を知りました。まさに立派!!の一言で頭が下がります。きっと今も患者さんとともに戦い続けているのだと思います。

医療の現場はこれまでに経験したことがない危機的状況で、医師や看護師などの医療従事者が命がけで立ち向かっている現状はニュース等でも頻繁に報道されています。一方で、心ない差別に苦しんでいる現状があることも報告されています。「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」という発信を日本赤十字社が行っています。3つの顔のうち“第3”の顔は「嫌悪・偏見・差別」です。この緊急事態であるからこそ、私たち一人ひとりが意識すべきことがあると深く考えさせられます。下記の日本赤十字社からの発信も参考に、継続して体調管理に努めて、乗り越えていきましょう！

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！

～負のスパイラルを断ち切るために～

実はこのウイルスが怖いのは、「3つの“感染症”」という顔があることです。知らず知らずのうちに私たちも影響を受けていることをみなさんにご存知ですか？

ワタシには3つの顔がある...
新型コロナウイルスによる感染が流行しています。

なぜ、嫌悪・偏見・差別が生まれるのか

見えない敵（ウイルス）への不安
特定の対象を見える敵と見なして嫌悪の対象とする
嫌悪の対象を偏見・差別し遠ざけることでつかの間の安心感が得られる

△△地区は危ない
××人だ、危ない
でも私もいつか罹るのかわからないからあんまり心配しなくていいわ...
あんなこと言っちゃったけど...

不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人の信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。

第3の“感染症”は嫌悪・偏見・差別です

ウイルスがもたらす
不安を煽ることは病気に対する偏見や差別を強めます。
・「確かな情報」を握りましょう。
・差別的な言動に同調しないようにしましょう。

第3の“感染症”をふせぐために

みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。
小さな子どもがいる家庭
高齢者
治療を受けている人とその家族
自宅待機している人
医療従事者
日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応しているすべての方々に
ねぎらい、敬意を払いましょう。

不安を煽ることは病気に対する偏見や差別を強めます。
・「確かな情報」を握りましょう。
・差別的な言動に同調しないようにしましょう。

第3の“感染症”をふせぐために